

〈M〉 **視覚情報処理**
 〈C〉 Visual Information Processing

(春学期、秋学期 2単位)

ノーマン・D. クック

■授業概要

動物心理学（行動主義）で説明できない人間の心理才能について講義する。

■到達目標

機械ができない認知現象と遺伝子で説明できない認知現象を理解すること。

■授業計画

まず、視覚心理学では絵画的奥行き感という現象を紹介する。〈1回～5回〉その後、聴覚心理学の和音現象を説明する。〈6回～10回〉最後に、昔から注目された言語機能と道具作り・使用および人間における独特の「共同注意」(joint attention)について、紹介する。〈11回～15回〉

■授業時間外学習

宿題（心理実験およびソフトのダウンロードと使用）2回ほどあります。

■成績評価の方法

定期試験（筆記試験）の成績で評価する。
 定期試験（100%）

■成績評価の基準

講義を聞いて、理解できた現象を小論文で説明すること。

■教科書

『Harmony, Perspective and Triadic Cognition』
 (Cambridge University Press) N. D. Cook（まだ和訳されていないので、興味のある生徒に推薦。）

■参考書

■備考